

2024年度 概要

現在の高知の海は、地球温暖化による漁場の変化や人口減少による漁師不足、南海トラフ地震による津波災害対策など課題は山積みである。そういう課題に対しての取り組みなど最新の情報を発信（取材動画）しています。また一方で、本年度も子どもたちを対象とした参加型の恒例イベント（オリジナル体験学習イベント）を継続、アップデートしておこないました。これらの活動から「みんな」の問題から「自分」の問題であると感じてもらう「自分ごと化」を図ることで、地元の海への興味・関心を高めてもらえるよう取り組んでいます。

■オリジナル体験学習イベント

小学校生活のほとんどをコロナ禍で過ごし、郷土の自然に十分に親しめていない子どもたちに、清流四万十川の美しさと豊かな生態系を体感、学習してもらい、収穫量ゼロになったスジアオノリを復活させるために自分に何ができるかを考えるために、オリジナル体験学習イベント「高知アオノリキッズアドベンチャー！」を開催しました。（2024年7月25日(木)・26日(木) 実施）

高知県は森林率が全国1位の84%。この豊かな森から流れてくる栄養豊富な水が、多種多様な生きものが生息する豊かな海を作っています。しかし、近年の温暖化などによる影響で、高知の海の環境が大きく変わり、生きものの生息域や、生態系も変化しています。その一つが「海藻」です。この「海藻」に着目して、「今、高知の海で起きている変化」を実感し、美しい海を守るために何をすべきか考え、学び、アウトプットへつなげました。



■海の取材動画

太平洋に広く面した高知県は「海」の恵みを一身に受けている県です。一方で、南海トラフ地震への対策や漁師不足、漁場の変化など「海」の問題も多く抱えています。この現実に対し、自分たちの行いや活動する人々、団体等を取り上げ、県民に情報発信していきます。5分以内動画は、放送枠を月曜夜22:57-23:00(Aタイム)に固定することで視聴を習慣化できるように図ります。24年11月時点で15本制作、放送しています。（年間目標33本）

■WEB運営

24年11月時点でニュースサイトPV数 6.4万PV、ニュースサイト記事数 24記事達成。（年間目標10万PV・50記事）

■プロジェクト訴求動画

「海ごみゼロウィーク」、「海とごちそうウィーク」、「海と灯台ウィーク」について、15秒のキャンペーンCMを計3本制作し、各期間で計200本放送。

2025度に向けて

高知県の課題に対し各自治体や組合などは発信をおこなっているが、それだけでは県全域で認知されず、県民の関心が高まっているとは言い難い。当団体は2016年より活動を開始、今年まで自治体などと連携、関係を構築し、それぞれの地域の繋ぎ役として海の現状や情報を発信してきた。2022年からは県教育委員会との連携も開始し、教育の分野からも県全体の海の活動を盛り上げている。今後は、さらに県内全域の小学生がリアルに海と触れ合い、学習できるイベントなど、「海」を直接体感・体験できる機会を多く創出していくと考えている。

高知県全域の小学生が「海」と触れ合い、体験し、学習できる機会を創出する

小学生を対象としたリアルイベントを複数回実施することで、より多くの子どもたちに海と接してもらう機会を創出。また、ローカルテレビ局と連携し、その強み（地元関係者、自治体などの連携）を活かした情報発信（特別番組の制作、放送）をおこなう。高知の海の問題について関心を持ってもらい、海について知ることで、自分事として未来の海を守る行動に繋げてもらう。